

一時避難場所は玄関出入口先、及び比較的 ADL の高い4名は玄関外にて設定
※一時避難場所までの誘導時間は6分31秒要したことを確認した。

②退避完了までの目標時間7分の設定 ⇒ 確認と実施



玄関外まで、全てのご利用者様の誘導を行い
実際の避難時間を測定した。

※誘導時間は2分3秒要したことを確認した。

避難訓練の実施概要は別紙①参照

③図上訓練等の設定 ⇒ 前日参加スタッフ全員にて別紙①の内容に関して事前確認を行い
当日、シュミレーション通り誘導できるか実施し改善点を洗い出す。


④一時的に退避させた自力困難な方の避難誘導 ⇒ 確認と実施



※今回、ご利用者様2名のみ店舗対面の避難場所(やまぶき会館駐車場)まで誘導を行い
誘導時間を計測した。(2名の方にお問い合わせした目的は、ADL の違いが顕著なご利用者様を
実際に誘導し、どの程度誘導時間に差があるか検証する為)

- ・車いすにて安全確認を取りながら避難誘導までの時間は41秒要した。
- ・通常の歩行時、安全確認を取りながら避難誘導までの時間は16秒要

※ このことから、店舗から避難場所までの誘導時間は平均して1名あたり概ね25秒要する
ことが確認でき今後の指標になった。

	<p>避難場所(やまぶき会館駐車場) までのルートは右記の通り 移動距離は約40m</p> 
<p>要望、意見及び改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> 比較的 ADL の高い利用者から優先して外に誘導する手順では若干順序に相違があった。 改善点 ⇒ 次回からは、スタッフ間でしっかり手順を共有し誘導する。 ご利用者の前まで靴を並べる際、誰が誰のものなのか咄嗟の判断だとわからない。 改善点 ⇒ 次回では、効率を考慮し以下の通り手順を変更する。 今回の手順では、サービス提供中(運動中)の利用者の前にスタッフが靴を用意し、履いてから一時避難場所へ誘導したが、次回は数名のスタッフが一時避難場所へ誘導すると同時に、1名のスタッフは誘導先(配置した椅子周辺)にまとめて靴を用意し履いてもらう。なお、比較的ADLの高い利用者は今回行った内容を継続し、すぐに玄関外まで移動できるようスリッパで誘導する。 利用者への指示が薄かったのか、一部の方が個別で移動してしまった。 改善点 ⇒ 次回誘導時は、極力一人ずつ声掛けを行い、全員に指示が通るように徹底する。 <p>全体の訓練内容としては多くの気付きをスタッフ全員で共有する事ができた。 今回、玄関外までの退避時間は10分以内で遂行できたが、次回開催の際は今回の訓練を活かし時間短縮を目標として掲げ、退避時間8分にて設定する。</p> <p style="text-align: right;">レコードブック川越大手町 スタッフ一同</p>
<p>出席者からの評価</p>	<p>書面開催の為、資料配布のみと致します。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>スタッフ一眼となり、防災における知識を深め対応力の強化を構築する</p>
<p>次回の開催予定</p>	<p>日時:令和4年10月吉日 場所:レコードブック川越大手町 店舗内にて</p>